

みんなでつくる、あたらしい

宮前市民館・図書館

ニュースレター vol.1

トピック

新しい宮前市民館・図書館について考える
アイデアワークショップの1回目を開催しました！

新しく令和7（2025）～8（2026）年度（予定）に鷺沼駅周辺に移転・整備する新しい宮前市民館・図書館の検討に向けて、第1回アイデアワークショップを令和元（2019）年9月7日（土）に開催しました。

子どもたちのグループを含め、43人の方から、現在の宮前市民館・図書館で「気に入っていること」「改善したいこと」、また新しく整備される施設への「こんな市民館・図書館になったら良い」等、たくさんのご意見をいただきました。このニュースレターはワークショップでいただいたご意見のまとめをお伝えします。



5グループに分かれて、ご参加いただきました！！



当日のプログラム

- 1 開会のあいさつ
- 2 オリエンテーション
目的と進め方の説明
- 3 グループワーク

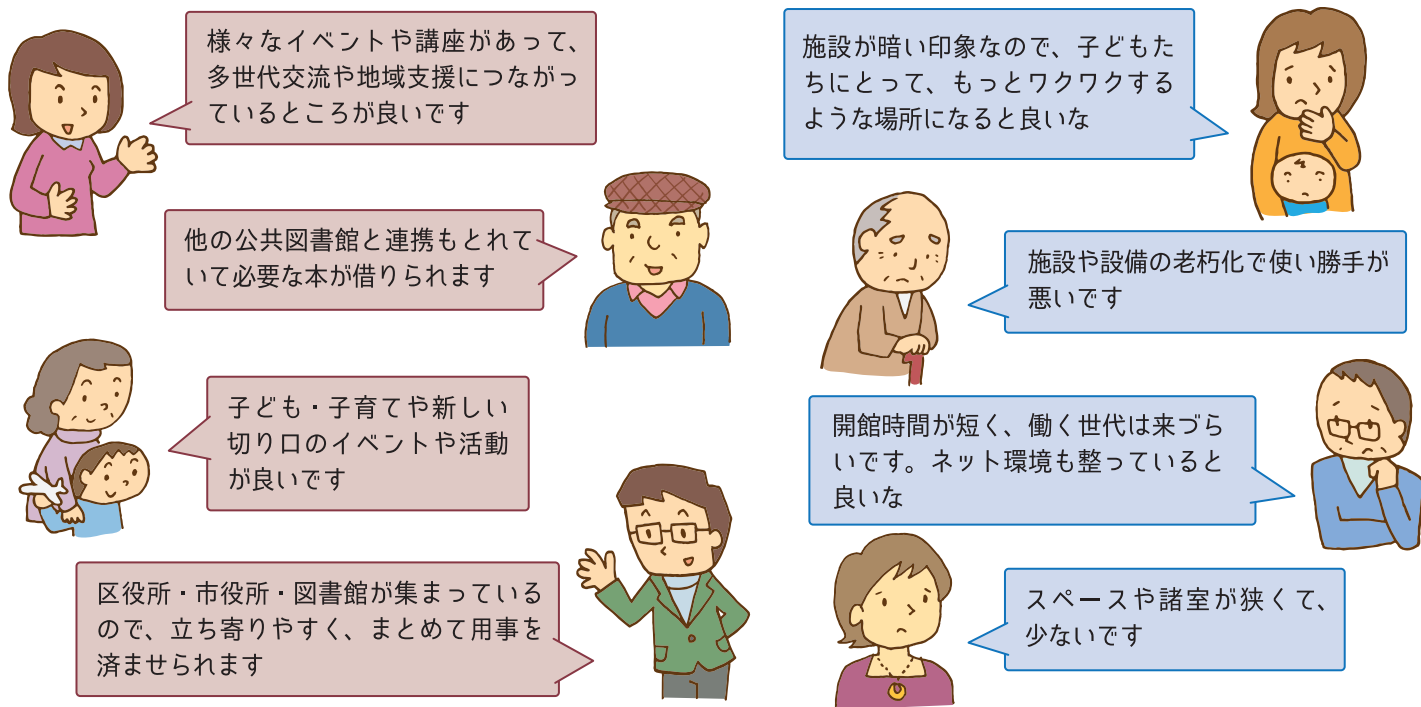
テーマ：新しい市民館・図書館の整備に「引き継ぎたいこと」「期待すること」を出し合おう

- 4 グループごとに成果発表、まとめ
- 5 閉会のあいさつ



いただいた
ご意見は裏面へ

現在の市民館・図書館の「気に入っていること」「改善したいこと」



「こんな市民館・図書館になったら良い」・「期待すること」

①地域とつながる開かれた場所のあり方

- ・自由に、気軽に、みんなが集まりやすい場
- ・利用者同士で話せて、悩みを相談できる、多世代で交流できる場
- ・バリアフリー・ユニバーサルデザインで、どんな人でも使いやすい場
- ・親子でも、子どもだけでも行きたくなる安全で楽しめる場
- ・市民活動を支える仕組みや場

②文化・教養・ビジネスを生み出す場のあり方

- ・新たなビジネスやアイデアが生まれる場
- ・アイデアや知識をみんなで共有し、実践できる場
- ・多世代が日常的に芸術・文化に触れられる場
- ・司書やコンシェルジュがサポートしてくれる場

③知的情報を収集・発見し、深め集積する場のあり方

- ・静かな空間とにぎやかな空間が上手に共存している場
- ・学べて、知識が広がる場
- ・ゆったり、自分に合った、本の読み方ができる場
- ・宮前区独自の地域や歴史の資料が保存・収集されている場
- ・新たな貸出・予約機能サービスが提供されている場
- ・既存の図書館サービスの見直し

④新しい施設のあり方

- ・愛着が湧き、利用したくなる施設
- ・公共機能・民間（商業）機能の連携を図り、やりたいことをまとめて実現できる場
- ・宮前区のみどりを介してつながる人の活動や空間
- ・様々な使い方ができる広場
- ・明るくワクワクする施設のデザイン

⑤その他

- ・今までにない新たな施設機能のアイデア
- ・安心安全でアクセスの良い施設

●新しい宮前市民館・図書館の今後の予定

平成 30 (2018) 年度 → 令和 7 (2025) 又は 8 (2026) 年度

基本方針策定

基本計画

→基本設計
→実施設計

今ココ!

駅前街区
工事

宮前市民館
宮前図書館
供用開始

10/20 (日) 宮前区民祭に出展します!!

新しい市民館・図書館について、広く皆さまからのご意見をお伺いするため、ブース出展します。ぜひご来場ください。